

■ 用語解説

《あ行》

用語	解説
いばらきダイバーシティ宣言	茨城県では、活力があり、持続可能な地域社会をつくるため、令和3年7月2日に県内の関係団体等と、県をあげて「年齢や性別、国籍や障害の有無、性的指向などにかかわりなく、一人一人が尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会」を実現することを目的に「いばらきダイバーシティ宣言」を発表した。この趣旨に賛同して、宣言をする企業・事業所・団体等を募集している。
インクルージョン	Inclusion (包括・包含)。あらゆる人材が、互いに個性を認め、受け入れ合い、持てる能力を最大限に発揮し相互に機能している状態を言う。
well-being (ウェルビーイング)	確立された定義はないが、身体的・精神的・社会的に「良い状態」を表すといった考え方もあるように、幅広い概念。
AI (エーアイ)	Artificial Intelligence (人工知能) の略。コンピュータが人間のように学習、推論、判断などを行う技術のこと。
M字カーブ	女性の労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口（就業者+完全失業者）の割合）は、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという、アルファベットのM字のような曲線を描くことから「M字カーブ」と言われる。近年、そのカーブは以前に比べ浅くなっている。
SNS (エスエヌエス)	Social Networking Service の略。個人間の交流を支援するサービスで、友人・知人等の社会的ネットワークをインターネット上で提供することを目的とするコミュニティ型のサービスのこと。
SDGs (エスディージーズ)	Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。2015年（平成27年）9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」という理念のもと、人類、地球およびそれらの繁栄のために設定された行動計画であり、17のゴール・169のターゲットから構成される。
LGBTQ(エルジービーティキュー)	「LGBTQ」とは、Lesbian (レズビアン) 同性を好きになる女性、Gay (ゲイ) 同性を好きになる男性、Bisexual (バイセクシュアル) 男性も女性も好きになる人、Transgender (トランスジェンダー) 心と体の性が一致しない人、Queering/Questioning (クィア/クエスチョニング) 自分の性別がわからない・意

	<p>図的に決めていない・決まっている人の頭文字をとった言葉で、セクシュアル・マイノリティ（性的少數者）の総称のひとつとして使われている。</p> <p>※関連項目「セクシュアル・マイノリティ」参照。</p>
OECD（オーエーシーディー）	<p>OECD は「 Organisation for Economic Co-operation and Development：経済協力開発機構」の略で、ヨーロッパ諸国を中心に日・米を含め 38 か国の先進国が加盟する国際機関。本部はフランスのパリに置かれている。国際マクロ経済動向、貿易、開発援助といった分野に加え、持続可能な開発、ガバナンスといった新たな分野についても加盟国間の分析・検討を行っている。</p>

《か行》

用語	解説
学校支援ボランティア制度	学校と地域の連携として、各小学校区にある公民館に「地域コーディネーター」を配置し、学校が支援を必要とすることについて、地域の方々（保護者を含む）をボランティア派遣するもので、これまで各学校で行われてきた地域ボランティア活動の取り組みを更に組織的にし、学校の求めと地域の力を結びつけ、より効果的な学校支援を行おうとするもの。
固定的な性別役割分担意識	「男性は仕事、女性は家庭」など性別で役割を押し付けたり、向き不向きを決めつけたりする意識のこと。

《さ行》

用語	解説
ジェンダー	社会的・文化的に形成された性別（ジェンダー／gender）のこと。生まれについての生物学的性別（セックス／sex）とは異なり、社会によって作り上げられた「男らしさ」「女らしさ」といった役割や期待、価値観によって形成される。
ジェンダーギャップ指数	スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表している。経済、教育、健康、政治の4分野において、男性に対する女性の割合（女性の数値／男性の数値）を示している。
ジェンダー不平等指数	リプロダクティブ・ヘルス（性と生殖に関する健康）、エンパワーメント、労働市場への参加の3つの側面における女性と男性の間の不平等による潜在的な人間開発の損失を映し出す指標。値は、0（女性と男性が完全に平等な場合）～1（すべての側面において、男女の一方が他方より不利な状況に置かれている場合）の間の数字で表され

	る。
セクシュアル・ハラスメント	相手の意思に反して行われる性的な言動や行為のこと。雇用関係にある者の間のみならず、施設における職員と利用者との間や、団体における構成員の間など、様々な生活の場で起こりうるもの。

《た行》

用語	解説
ダイバーシティ	「多様性」のこと。人種、性別、年齢、国籍、宗教などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会という。
デートDV	恋人同士など親密な関係のなかで起こる暴力で、相手の交友関係や行動をしばる、怒鳴ったり暴力をふるう、性行為を強要する、避妊に協力しないなど、様々な形の暴力を含む。
ドメスティック・バイオレンス (DV)	「domestic violence」をカタカナで表記したもので、略して「DV」と呼ばれる。配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のこと。殴る、蹴るという「身体的暴力」だけでなく、言葉による「精神的暴力」、親・兄弟姉妹や友人との付き合いや行動を制限する「社会的暴力」、生活費を渡さないといった「経済的暴力」、避妊に協力しないなどの「性的暴力」も含まれる。「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（平成13年法律第31号）」では、配偶者（事実婚、元配偶者を含む）、生活の本拠を共にする交際相手からの暴力を法の適用対象としている。

《は行》

用語	解説
配偶者等からの暴力	※関連項目「ドメスティック・バイオレンス(DV)」参照。

《ま行》

用語	解説
マタニティ・ハラスメント	働く女性が妊娠・出産・育児休業等を理由に職場で受けられる精神的・肉体的な嫌がらせや不利益な取扱い（解雇・雇止め、降格・減給、心ない言葉かけ等）のこと。

《ら行》

用語	解説
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（「性と生殖に関する健康と権利」）	1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念。「リプロダクティブ・ヘルス」は、妊娠したい人、妊娠したくない人、産む・産まな

	いに興味も関心もない人、アセクシャルな人（無性愛、非性愛の人）問わず、心身ともに満たされ健康にいられること。「リプロダクティブライツ」は、産むか産まないか、いつ・何人子どもを持つかを自分で決める権利のこと。妊娠、出産、中絶について十分な情報を得られ、「生殖」に関するすべてのことを自分で決められる。
リベンジポルノ	元交際相手の性的な写真等を嫌がらせ目的でインターネット上に公開することなどをいう。このような行為の多くは、「私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律（平成 26 年法律第 126 号）」による規制の対象となる。
ロールモデル	具体的な行動や考え方の模範となる人物のこと。

《わ行》

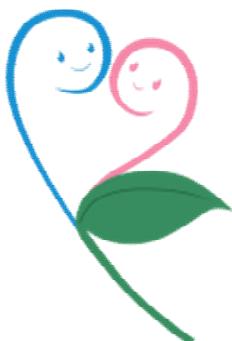
用語	解説
ワーク・ライフ・バランス	仕事と生活の調和。老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態であること。仕事と生活の調和が実現した社会は、「就労による経済的自立が可能な社会」「健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会」「多様な働き方・生き方が選択できる社会」の 3 つの柱で構成される。

【鹿嶋市男女共同参画推進委員会委員名簿】

委嘱期間：令和7年7月1日から令和9年6月30日まで

No.	役職名	氏名	区分	備考
1	委員長	石津 和宏	個人事業主	
2	副委員長	阪口 美香	女性経営者	
3	委員	榎本 幸	女性起業家	
4	委員	河野 友紀	鹿嶋市社会福祉協議会	
5	委員	高楠 香代子	鹿嶋市立鉢形小学校長	
6	委員	竹内 梨恵	一般	
7	委員	長島 一樹	企業	
8	委員	萩原 かなえ	一般	
9	委員	三次 義友	鹿嶋市商工会青年部	
10	委員	山本 主税	事業者	

(敬称略:氏名順)



■鹿嶋市男女共同参画推進シンボルマーク

シンボルマークは、鹿嶋市男女共同参画の推進を広く周知するため、一般公募及び公開選考会の結果、平成25年(2013年)6月にデザインが決定しました。

鹿嶋の「K」が盛り込まれ、互いに寄り添う形で協力を表しています。デザインにあしらわれた葉は、自然豊かな鹿島神宮の森をイメージしたものであり、曲線を多用することで、やさしさと温かみを表現しています。



第4次鹿嶋市男女共同参画計画
令和8年3月

発行 茨城県鹿嶋市
編集 市民生活部地域づくり推進課